

よりよい医療と社会をめざして

〜カナダの先進的なSDHのとりくみ〜

昨年の9月23日から28日まで、全日本民医連スタディツアーの一員として、耳原総合病院の大矢亮医師がカナダに行きました。このツアーの目的はSDH (Social determinants of health: 健康の社会的決定要因) について先進的なとりくみを行っているトロントの家庭医の先生たちを中心とした活動から学び、日本でのとりくみに活かすことです。

トロント視察報告

耳原総合病院HPH委員会 大矢 亮

トロントのつながりは、僕も運営委員として関わっている日本HPH (注1) ネットワークの活動の一環として、オンタリオ州家庭医協会が作成した「医師向けのSDHのとりくみのためのベストプラクティス」を翻訳したことです。

2017年3月のHPHスプリングセミナーと10月のHPHカンファレンスに、活動の中心を担っているGary Bloch (ゲイリー・ブロッホ) 先生をお招きし、トロントでの活動を教えていただきました。こうしたつながりが強くなる

中でトロントでの実践から直接学びたいという機運が高まり実現しました。ツアーは3・5日の間に、27名のレクチャーとフィールドワークのセッションが詰まった、非常に濃密なものでした。セッションの主な内容は、Gick先生たちが診療を行っている聖ミカエル病院グループの、SDHや医療の公平性に関するとりくみの紹介、SDHに関する研究を目的に設立されたUpstream Laboの見学、ホームレス・薬物中毒・先住民など地域の健康問題に取り組んでいる医療者との交流、カナダにおける医師のアポカシー活動 (注2) の紹介などです。

ツアーを通じて痛感したことは、よりよい医療と社会を実現す



前列左から2人目が大矢亮医師

るために、医療者が臨床現場で生じている問題を論文や研究としてまとめ、社会に発信する活動量の違いでした。この経験を活かして、これから同仁会の活動をもっと社会に発信できるようなとりくみが必要です。ご協力をよろしくお願ひします。



人命救助で表彰

ICU病棟主任の瀧川美保さん

堺市消防局から授与される

みみはらホールで表彰式

昨年11月下旬、自動車運転中に心筋梗塞によって意識消失を起こした方に、帰宅途中、偶然遭遇した耳原総合病院のICU病棟主任の瀧川美保さん。吐瀉の判断で心肺蘇生を行い、救急搬送までつなぐことができ無事救命に至りました。

堺市消防局からは「勤務外に救助の行動をとられるのは、医療従事者とはいえ勇気のいることです。ともに人命救助に尽くすわたしたちにとっても、大きな誇りです」との発言がありました。表彰式には堺市消防署長や耳原総合病院の奥村病院長など30人以上が参加、同仁会でも就業規則に則り表彰を行いました。

(注1) Health promoting hospitals and health services = 健康増進活動拠点病院

(注2) 社会の課題を解決するために、政治を動かすために提言する活動

シリーズ 現場からの視点

その43

加齢・認知症・病気など要因はさまざまですが、掃除や片づけができない・物が捨てられない等により、ゴミやホコリが山のように積み上がり、ゴミフリが走り回り、衛生的にも身体的にも安全に過ごせる環境を保てない高齢者が増えていきます。しかし、介護保険で認められるサービスは限られており、ヘルパーは日常の家事支援だけで大掃除はできないため、このようなケースの方への支援が大きな課題となっているのです。

連携のパワーで大掃除

高齢者の生活見守るため、行政への働きかけを強めよう

助っ人隊の6人で大掃除に入り、2日間で延べ24時間を費やし何とかヘルパーサービスを開始することができました。しかし30袋を超えるゴミの処理が残り、未だ一戸建て住居のほとんどの部屋の片づけが手付かずの状態となっています。

最近、近所付き合いも希薄になり、外からだけでは実態のわからない高齢者の住まい。自治体キヤラバンでは具体的に実態を伝え、特別にゴミの回収ができないかと相談しましたが「そういう制度はありません。回収業者に有償で回収してもらってください」と責任逃れの冷淡な回答でした。

引き続き自治体への働きかけを強め、行政・医療・介護が連携し、地域一体で高齢者を見守ることが大切とあらためて実感しています。

(助っ人隊事務局 大坪)



今回関わったケースも、介護支援に助けを求められない事が増える中で不自由な生活を送られているご夫婦でした。ケアマネジャーが関わり、介護認定されましたが溢れかえるゴミによってヘルパーさんが自宅に入ることすら困難な状態でした。とにかく、ヘルパーが生活援助に入る状態にしようと、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター、ワンコイ